



2019年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月10日

上場会社名 ミニストップ株式会社

上場取引所 東

コード番号 9946

URL <https://www.ministop.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)藤本 明裕

問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員管理本部長

(氏名)堀田 昌嗣

(TEL)043-212-6472

四半期報告書提出予定日 2018年10月11日

配当支払開始予定日

2018年11月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年2月期第2四半期の連結業績 (2018年3月1日～2018年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年2月期第2四半期	106,462	0.8	1,425	0.4	2,019	4.3	712	△6.3
2018年2月期第2四半期	105,614	5.2	1,420	△9.1	1,935	△3.2	759	9.2

(注) 包括利益 2019年2月期第2四半期 95百万円 (△86.2%) 2018年2月期第2四半期 696百万円 (－%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年2月期第2四半期	24.56	24.54
2018年2月期第2四半期	26.22	26.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年2月期第2四半期	122,466	58,441	45.0
2018年2月期	120,616	58,777	46.0

(参考) 自己資本 2019年2月期第2四半期 55,109百万円 2018年2月期 55,464百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年2月期	—	22.50	—	22.50	45.00
2019年2月期	—	22.50			
2019年2月期(予想)			—	22.50	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年2月期の連結業績予想 (2018年3月1日～2019年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業総収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	6.3	1,800	—	2,700	126.3	1	—	0.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年2月期2Q	29,372,774株	2018年2月期	29,372,774株
2019年2月期2Q	374,716株	2018年2月期	379,969株
2019年2月期2Q	28,996,570株	2018年2月期2Q	28,981,267株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2018年3月1日～8月31日）における日本国内経済の状況は、雇用・所得環境の改善傾向が続き、個人消費や民間企業設備投資など内需の牽引により景気回復が続いております。小売業につきましては、異業態間の競争激化、長期にわたる景気回復による人手不足感の高まり等、厳しい環境が続く中、コンビニエンスストア業態は地域に欠かせない生活インフラとして成長を続けています。

このような状況の中、当社グループは“私たちは、「おいしさ」と「便利さ」で、笑顔あふれる社会を実現します。”というミッションのもと、“もっと便利、もっと健康、もっと感動、毎日行きたくなる店舗をつくります。”というビジョンの実現に向け、国内コンビニエンスストア事業および海外エリアフランチャイズチェーン展開を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、営業総収入1,064億62百万円（前年同期比100.8%）、営業利益14億25百万円（前年同期比100.4%）、経常利益20億19百万円（前年同期比104.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億12百万円（前年同期比93.7%）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益が前年を下回った理由は、店舗閉鎖に関連する費用が前年を上回ったことによります。

国内および海外のエリアフランチャイジーを含めた当第2四半期連結会計期間末店舗数は、5,453店舗となりました。

各事業の活動状況は次のとおりです。

[国内事業]

ミニストップ(株)のチェーン全店売上高は前年同期比98.7%となりました。ミニストップ店舗の既存店1店1日当たりの売上高前期比（以下、既存店日販昨対）は98.7%、店内加工ファストフードの既存店日販昨対は101.7%、コンビニエンスストア商品の既存店日販昨対は98.2%でした。

店内加工ファストフードのコールドスイーツ商品は、7月に「ハロハロ 果実氷」シリーズ2品、8月に「雪梨パフェ」それぞれにテレビCMを投入し、ファストフード全体の底上げを図りました。その結果、コールドスイーツ商品は前年同期比106.4%となり、ファストフード全体の改善に大きく貢献しました。

コンビニエンスストア商品は、雑誌・新聞の不振が続きましたが、上期に重点的に取り組んだサラダが前年同期比115.8%と好調に推移しました。また、7月と8月の記録的な猛暑に対応したことで、ソフトドリンク、冷凍食品、アイスクリーム等が好調に推移し前年を上回りました。なお、前年に続き、イオングループ共同開発商品として、ミニストップ(株)が主導となり、調理パン、調理麺を開発しました。イオングループのスケールメリットを最大限に活用し、素材、製法にこだわったおいしさをお客さまに届けることができました。

販売促進活動は、電子マネーWAONとWAON POINTの利用促進を目的とした販促を中心に実施しました。その中でも、「ミニストップからの挑戦状」と題し、71日間で「ハロハロ・パフェを32個食べたら1,000WAONボーナスポイントプレゼント」企画がご好評をいただきました。

販売費及び一般管理費は、後方部門の経費削減、効率化を行う一方で、加盟店への品揃え支援など売上向上のための経費を投入しました。

店舗開発につきましては、採算性を重視した出店と、計画的に不採算店舗の閉店を実施し、出店は39店舗（cisca・れこっず含む）、閉店は64店舗となり、国内事業における当第2四半期連結会計期間末店舗数は2,239店舗となりました。

ネットワークサービス(株)は定温センター13ヶ所、常温センター7ヶ所を運営し、ミニストップ(株)向けの共同配送事業を展開しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における国内事業の営業総収入は431億80百万円（前年同期比98.6%）、営業利益は16億17百万円（前年同期比91.5%）となりました。

[海外事業]

韓国の韓国ミニストップ(株)は、たばこ規制による客数減に対応する為、米飯類を中心に中食商品の拡充により売上向上を図りました。その結果、米飯類は前年同期比104.4%と前年を上回りましたが、韓国の国内景気の長期低迷、8月の台風上陸などにより、既存店日販は前年同期比98.4%となりました。当第2四半期連結会計期間末店舗数は

2,535店舗となりました。

中国の青島ミニストップ有限公司は、2温度デリケースの導入と商品開発を連動させたことで、デリケース分類の前年同期比が136.5%となりました。その結果、店内加工ファストフードの前年同期比が108.0%となり、ファストフード全体の数字改善を図ることができました。当第2四半期連結会計期間末店舗数は67店舗となりました。

ベトナムのMINISTOP VIETNAM COMPANY LIMITEDは、たばこの取り扱い店舗の拡大およびコンビニエンスストア部門の品揃えを見直しました。その結果、非食品が前年同期比115.6%となりコンビニエンスストア部門が堅調に推移しました。当第2四半期連結会計期間末店舗数は124店舗となりました。

フィリピンのロビンソンズ・コンビニエンス・ストアーズ・インクの当第2四半期連結会計期間末店舗数は488店舗となりました。

以上の結果、海外エリアでの当第2四半期連結会計期間末店舗数は3,214店舗となりました。当第2四半期連結累計期間における海外事業の営業総収入は632億81百万円（前年同期比102.4%）、営業損失は1億92百万円（前年同期実績 営業損失3億48百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ18億49百万円増加し、1,224億66百万円となりました。これは主に関係会社預け金が30億円増加し、現金及び預金が7億4百万円、差入保証金が9億72百万円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べ21億84百万円増加し、640億24百万円となりました。これは主に買掛金が30億43百万円、長期借入金が14億97百万円増加し、短期借入金が28億87百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億35百万円減少し、584億41百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が3億15百万円、為替換算調整勘定が1億37百万円減少したことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末と比較して26億93百万円増加し、119億40百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、92億97百万円の収入（前年同期比24億36百万円の減少）となりました。これは主に、仕入債務の増加額30億39百万円、減価償却費37億77百万円、税金等調整前四半期純利益11億32百万円によります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、50億79百万円の支出（前年同期比1億30百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出43億99百万円、差入保証金の差入による支出12億64百万円によります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、14億92百万円の支出（前年同期比11億11百万円の減少）となりました。これは主に、短期借入れによる収入192億19百万円、短期借入金の返済による支出217億62百万円、長期借入れによる収入15億1百万円によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績は計画通り推移しており、2018年4月11日の決算短信で公表いたしました2019年2月期の業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,842	5,138
加盟店貸勘定	8,852	7,655
商品	3,438	3,355
未収入金	10,419	12,333
関係会社預け金	4,000	7,000
その他	6,078	6,049
貸倒引当金	△100	△105
流動資産合計	38,529	41,427
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,138	16,540
機械装置及び運搬具(純額)	2,420	2,378
器具及び備品(純額)	12,320	12,473
土地	432	432
リース資産(純額)	66	81
建設仮勘定	329	176
有形固定資産合計	31,709	32,084
無形固定資産		
ソフトウェア	1,824	1,638
のれん	337	298
その他	969	1,340
無形固定資産合計	3,132	3,277
投資その他の資産		
投資有価証券	7,934	7,494
関係会社株式	1,559	1,570
長期貸付金	443	480
差入保証金	31,098	30,125
その他	6,378	6,171
貸倒引当金	△169	△164
投資その他の資産合計	47,245	45,678
固定資産合計	82,086	81,039
資産合計	120,616	122,466

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,955	27,998
加盟店借勘定	662	1,240
短期借入金	4,032	1,145
未払金	5,753	6,198
未払法人税等	264	704
預り金	12,899	11,755
賞与引当金	224	279
店舗閉鎖損失引当金	57	61
その他	2,581	3,163
流動負債合計	51,432	52,548
固定負債		
長期借入金	—	1,497
リース債務	61	67
長期預り保証金	6,775	6,431
退職給付に係る負債	489	552
資産除去債務	2,349	2,346
その他	730	581
固定負債合計	10,406	11,476
負債合計	61,839	64,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,491	7,491
資本剰余金	7,592	7,592
利益剰余金	35,850	35,906
自己株式	△671	△662
株主資本合計	50,262	50,328
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,728	4,413
為替換算調整勘定	691	554
退職給付に係る調整累計額	△219	△186
その他の包括利益累計額合計	5,201	4,781
新株予約権	28	21
非支配株主持分	3,285	3,310
純資産合計	58,777	58,441
負債純資産合計	120,616	122,466

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)
営業総収入	105,614	106,462
営業原価	65,964	68,627
営業総利益	39,649	37,835
販売費及び一般管理費	38,229	36,409
営業利益	1,420	1,425
営業外収益		
受取利息	295	292
受取配当金	107	115
持分法による投資利益	—	57
違約金収入	122	128
その他	93	109
営業外収益合計	619	703
営業外費用		
支払利息	25	45
持分法による投資損失	34	—
課徴金	—	23
その他	45	40
営業外費用合計	104	109
経常利益	1,935	2,019
特別利益		
固定資産売却益	10	19
特別利益合計	10	19
特別損失		
減損損失	625	609
店舗閉鎖損失	122	187
店舗閉鎖損失引当金繰入額	52	61
その他	13	47
特別損失合計	814	906
税金等調整前四半期純利益	1,131	1,132
法人税、住民税及び事業税	602	550
法人税等還付税額	△135	—
法人税等調整額	34	53
法人税等合計	501	604
四半期純利益	629	528
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△129	△183
親会社株主に帰属する四半期純利益	759	712

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)
四半期純利益	629	528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	338	△315
為替換算調整勘定	△225	△11
退職給付に係る調整額	31	32
持分法適用会社に対する持分相当額	△78	△137
その他の包括利益合計	66	△432
四半期包括利益	696	95
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	906	292
非支配株主に係る四半期包括利益	△210	△196

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,131	1,132
減価償却費	3,757	3,777
減損損失	625	609
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	67	62
受取利息及び受取配当金	△403	△408
支払利息	25	45
持分法による投資損益 (△は益)	34	△57
固定資産除売却損益 (△は益)	△8	△17
加盟店貸勘定の増減額 (△は増加)	657	1,201
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△91	109
未収入金の増減額 (△は増加)	△1,931	△2,250
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,335	3,039
加盟店借勘定の増減額 (△は減少)	498	577
未払金の増減額 (△は減少)	915	383
預り金の増減額 (△は減少)	△152	△1,142
その他	1,249	1,672
小計	11,707	8,735
利息及び配当金の受取額	326	345
利息の支払額	△25	△57
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△275	273
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,733	9,297
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,989	△4,399
有形固定資産の売却による収入	20	14
無形固定資産の取得による支出	△415	△490
投資有価証券の売却による収入	1,299	—
貸付けによる支出	△139	△150
貸付金の回収による収入	70	109
関係会社株式の取得による支出	—	△87
差入保証金の差入による支出	△1,389	△1,264
差入保証金の返還による収入	1,714	2,150
預り保証金の預りによる収入	691	857
預り保証金の返済による支出	△633	△918
その他	△1,438	△898
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,209	△5,079

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	19,219
短期借入金の返済による支出	△2,462	△21,762
長期借入れによる収入	—	1,501
自己株式の取得による支出	—	△0
ストックオプションの行使による収入	0	0
非支配株主からの払込みによる収入	653	221
配当金の支払額	△652	△652
リース債務の返済による支出	△143	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,604	△1,492
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△31
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,912	2,693
現金及び現金同等物の期首残高	11,060	9,246
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,973	11,940

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しています。

顧客に対する一部の支払について、従来、販売費及び一般管理費として会計処理していましたが、第1四半期連結会計期間より営業総収入から控除しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業総収入が2,979百万円減少し、販売費及び一般管理費は2,979百万円減少しています。

なお、本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年3月1日 至 2017年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業総収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	国内事業	海外事業	計
営業総収入			
外部顧客に対する営業総収入	43,796	61,817	105,614
セグメント間の内部営業総収入又は振替高	312	—	312
計	44,109	61,817	105,926
セグメント利益又は損失(△)	1,769	△348	1,420

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位:百万円)

	国内事業	海外事業	合計
減損損失	539	86	625

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの営業総収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	国内事業	海外事業	計
営業総収入			
外部顧客に対する営業総収入	43,180	63,281	106,462
セグメント間の内部営業総収入又は振替高	330	—	330
計	43,511	63,281	106,793
セグメント利益又は損失(△)	1,617	△192	1,425

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位:百万円)

	国内事業	海外事業	合計
減損損失	465	144	609